

2025年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2025年度日本数学会秋季総合分科会にて、2025年度日本数学会賞建部賢弘賞が、特別賞6名、奨励賞5名に贈られました。

受賞者については、『数学通信』第30巻3号の会報199でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介として、ご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載しています。

(五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。)

特別賞

社本陽太 (大和大理工講師)

業績の題目：ストークス構造に関する研究

幾何学に現れる Stokes 構造を研究しています。この度は、身に余る賞をいただき、大変光栄です。指導教員の望月拓郎先生、日々生活を共にしている家族、数学生活を共にしている人々に心より感謝申し上げます。今後もワークライフバランスを大切に、数学とのより良い関係を築いていきたいと考えています。

関真一朗 (長浜バイオ大学バイオサイエンス学部講師)

業績の題目：コネクターおよび離散反復積分による多重ゼータ値の研究

関孝和の術を敷衍させた累増約術や零約術により、建部賢弘が我が国で初めて無限級数を見出したことを思うと、多重ゼータ値なる無限級数を研究する私が本賞を賜ることに、深い縁と喜びを感じます。コネクターや離散反復積分という新しい術の構築と発展に取り組んできた共同研究者の皆さんに感謝し、今後も研究に励みます。

世良透 (阪大基礎工講師)

業績の題目：間欠力学系に対する確率論的研究

この度は名誉ある賞を賜り、誠に光栄に存じます。私はこれまで、確率過程論的な観点から間欠力学系の長時間挙動を研究してまいりました。今回の受賞を励みに、今後も研究に一層尽力いたします。この場をお借りして、これまでお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

藤岡禎司 (福岡大理助教)

業績の題目：曲率が上または下に有界な距離空間の幾何学

空間の曲がり方が空間全体の形をどのようにコントロールするかを研究しています。様々な数学がある中で、自分の研究をこのような形で評価していただけることを大変ありがたく思います。これまで多くの方々に支えられて数学を続けていくことができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

村上友哉（九大数理学振 PD）

業績の題目：量子モジュラー形式の研究

この度は大変栄誉ある賞を頂き、身に余る光栄です。私が量子モジュラー形式という数論・トポロジー・数理物理にまたがる対象を研究することになったのは、たくさんの方々のご縁とご指導、励ましがあつてのことでした。お世話になった方々のおかげで今の自分があると感じます。心から感謝申し上げます。

Lorenzo Cavallina（東北大理助教）

業績の題目：複合媒質における過剰決定問題の解析

複合媒質における形状最適化問題に由来する過剰決定問題を研究してきました。来日して 10 年という節目に、このような名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。この場をお借りして、この 10 年間私を支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

奨励賞

青木悠史郎（東京工業高等専門学校助教）

業績の題目：Martin の公理の部分公理群と梯子系の色付けの一様化の関係

この度は名誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。私は公理的集合論、特に最小の非可算順序数上の組み合わせ論と強制法公理の関係について研究しております。議論して下さった方々など、お世話になりましたすべての方々へ御礼申し上げます。この賞に恥じぬよう、一層研究に邁進してまいります。

片山翔（東大数理博士課程 3 年）

業績の題目：半線形楕円型方程式の解構造および関連する諸問題について

この度はこのような栄誉ある賞を拝受して身に余る光栄です。私はとくに非有界領域上の半線形楕円型方程式の正值解の構造やそれらに関連した放物型方程式の解挙動について研究してまいりました。この場をお借りして、これまでお世話になった皆様に深く感謝申し上げます。この受賞を励みにより一層精進して参ります。

北村侃（理研数理創造研究センター基礎科学特別研究員）

業績の題目：作用素環的量子群の研究

この度は名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。お世話になりました先生方や、議論をともにして下さった方々、研究環境を支えて下さっている関係者の皆様に、心より感謝いたします。群の枠組みをこえた対称性に関連する作用素環的現象に興味を持っています。今回の受賞を励みに、一層研究に努める所存です。

菅原朔見（北大理学院助教）

業績の題目：超平面配置の研究：極小性、ハンドル分解、局所系コホモロジー

この度はこのような栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。私は超平面配置に興味があり、中でも、位相幾何学的な観点から研究を行っています。お世話になっている先生方、友人の皆様、そして家族に感謝申し上げます。この受賞を励みに、超平面配置やトポロジーの分野を盛り上げていけるよう、今後とも精進してまいります。

松井一徳（東京海洋大学術研究院助教）

業績の題目：圧力境界条件を含む流体問題に対する射影法の数学解析

この度は栄誉ある賞を賜り誠に光栄に存じます。お世話になっている皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。流体問題における数値計算手法の1つである射影法について研究してまいりました。最近射影法の弾塑性問題への応用についても取り組んでおり、研究を深めることはもちろん、幅も広げていく所存です。